

分団紹介

第6分団

錦田地区18自治会を管轄しております第6分団のメンバーです。定員30名ですが、5名の欠員がでており、現在は総勢25名で活動しています。日々皆様の生命及び財産を守るよう訓練を重ねておりますが、東日本大震災のような未曾有の災害が発生した際は、ほとんど機能しないのではないかと危惧しております。

そこで、自治会様が普段より実施しております防災訓練におきましては、東海地震等の災害に備え、地域一丸となり取り組んで頂きたいと思っております。要望を頂ければ、微力ではありますが、お手伝いをさせていただきますので、遠慮なしにご連絡を頂ければと思っております。今後とも消防団活動にご理解、ご協力の程お願いします。



第7分団



私たち第7分団は、竹倉・柳郷地を管轄しています。団員のほとんどが20代～30代の若い会社員で構成されています。

全員が揃うことは、なかなか難しいですが、少ない人数と時間の中で団結し、真剣に訓練に取り組み、自分たちにできることを精一杯やっています。



第8分団

第8分団は、夏梅木・錦が丘を管轄として基本団員16名と機能別団員2名で活動しており、毎月第1、3土曜日には消防車・積載物の点検および動作確認や地域防災のため巡回をおこなっています。

団活動以外でも、団員相互の親睦を図るため旅行やバーベキューなどの催しや、家族そろっての日帰り旅行をしたりと年齢層は幅広いですがとてもアットホームな分団です。

現在は、新入団員の確保が厳しい状況ですが、これからも地域のためにがんばってまいります。



三島市消防団本部

愛せ我が郷土

三島市消防団
団長 内野 哲雄

今年3月11日に発生した東日本大震災において、多くの尊い命が奪われ、さらに多くの方が住まいを失い、辛苦に耐えられていることに、改めて心痛の極みであります。

我々の同志である消防団員・消防職員の皆様が、あの惨禍の最前線で避難誘導、救出活動と、命を守る為の必死の活躍、また、その中で、残念ながら殉職された方々とそのご家族様に、感謝と哀悼の意を表すものであります。一日も早い復興回復をお祈り申し上げます。

この地域も巨大地震が発生した場合、火災・家屋倒壊・土砂崩れ・液状化・津波等が一斉に起ると想定されています。当然、多くの消防力が必要であり、全市あげての準備・訓練が必要であると考えます。我々消防団は、常備消防、自主防災会と協力体制をとり、特に初期消火・延焼阻止に全力で対処するべく指導しております。

最後に、これからも強固な精神で「三島の街を守るのは自分達だ」と、地域に信頼され、親しまれる消防団を目指し活動していきます。また、より良い活動をするために、同じ想いを持った方を募っております。ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



団員募集!!

●消防団では仲間を募集しています

お問い合わせ 三島市消防本部・警防救急課消防団係 ☎ 055-972-5803

http://www.city.mishima.shizuoka.jp/mobile/minfo_employ/emp004871.html



バケット代が
かかります。

編集部員 紹介

団本部	副団長	神尾 昭司	第一方面隊	木島 忠志
	本部部长	風間 浩	第二方面隊	神山 清康
	本部部长	鈴木 弘浩	第三方面隊	北川 憲
	女性団員	佐々木享子	第四方面隊	橋本 泰洋
	女性団員	遠藤 映子	第五方面隊	鈴木 智善



静岡県消防協会 田方支部 消防操法大会

平成23年5月22日(日)
熱海観光港芝生広場



ポンプ車操法の部
代表 第1分団

- 田方の大会は、市の大会とは雰囲気の違い、とても緊張しました。
- 結果は残念でしたが、目標に向かい選手だけでなく、分団全員がひとつになり努力した事は、今後の消防活動において大きな力になると思います。
- 多くの方々に支えて頂いた訓練の成果を、本番で発揮できず、悔しさと申し訳なさいっぱいです。次の機会があればやり遂げたいです。
- 皆さんのおかげで頑張れました。ありがとうございました。



小型ポンプ操法の部 代表 第13分団



- 競技が終了時点では、各選手とも大きな達成感に満ち、5ヶ月間におよぶ練習の成果が十分に発揮され、悔いのない操法となりました。
- 結果は準優勝でしたが、やり遂げられて、とてもスッキリした気分です。
- 大会を通じて得た団結力を、今後の分団活動で活かせるように努めていきたいです。
- 長期間にわたり応援・支援して頂きました団本部・各分団・方面隊の皆様へ心から感謝いたします。ありがとうございました。



三島市制70周年記念式典に参加

ラッパ隊



田方支部 操法大会 選抜メンバー

女性消防団ハート119



AED講習

花火指導



式典アシスタント

女性のラッパ隊

私達 新入団員です!

松田 兆



私の入団の動機は、緊急時に家族を守る術を身に付けたかったからです。ここでは多くの実践的な応急処置法を学ぶことができます。また、多くの方とふれ合い、その想いを知ることが、私を強くしてくれました。消防団で培われた技術と自信、災害に立ち向かう勇気を得た今では、以前の私より成長できたことを実感しています。

高橋 昭子



十年前に実家が火災にあい、消防の方にお世話になったこと、日々人命に関わる仕事についているため何か取得して役立てる手段はないのかと思ってた時、「広報みしま」で団員募集の記事を見つけ、興味が湧き入団しました。自分の体験や技術も生かしつつ、新しい技術や知識を習得し、女性ならではの広報活動などをしていきたいと考えています。

黒田 詩帆



入団して私は、もし地震等の災害が発生したならばどうすれば良いのかを、今まで以上に考えるようになりました。私は学生なので、休みの日に消防団活動に参加しています。都合に合わせて活動できて、消防ならではの体験がたくさんできて、とても楽しいです。

横山 千恵



私は大学に通いながら、女性消防団員として心肺蘇生や AED 講習、保育園で安全な花火遊びを教える活動等を行っています。地域の方々と交流出来たり、たくさんの方を学んでとてもいい経験になっています。これからも勉強と両立させながら、頑張っていきたいです。